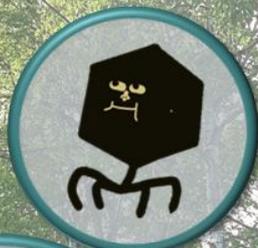


# 治療薬の無い薬剤耐性菌、そんな感染症に 苦しむパートナーを救う手段を生み出すために。

RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY  
酪農学園大学



第二目標金額 **1000万円** 2022年 **8月29日(月)** まで

酪農学園大学 獣医化学ユニットがクラウドファンディングに挑戦！ /

## ファージが最愛のペットを救える未来へ - 多剤耐性菌感染症の切り札 -

※本プロジェクトはすでに第一目標金額を達成しているため、寄付募集終了日までに集まった分の寄付金を受け取ります。ご寄付のキャンセルはできません。

酪農学園大学 獣医学群獣医学類 獣医化学ユニットに所属する岩野、藤木、中村は、学内教員と連携し、昨年、日本で初めてファージセラピーを用いた犬の難治性細菌感染症の臨床試験を実施し、成功することができました。

ファージセラピーとは、細菌にのみ感染するバクテリオファージという生物を使って、感染症を引き起こしている原因菌を殺菌し、感染症を治癒させる治療法です。近年、抗菌薬（抗生物質）が効かない薬剤耐性菌が蔓延しており、2050年には薬剤耐性菌による世界の死亡者が癌による死亡者数を超過して1000万人にものぼることが試算されています。こうした薬剤耐性菌への切り札としてファージセラピーが注目されています。

世界では、治療薬のない薬剤耐性菌に対するファージセラピーの具体的な治療効果が報告されはじめ、実用化に向けた基準づくりが進められていますが、その一方で、日本では一握りの研究者達が細々と実用化に向けて研究を行っている状況であるため、実用化に向けてのあゆみが遅れてしまっていることが課題となっています。

ファージセラピーの理解を深め実用化を促進すべく、私たちはファージを患部へ届けやすい症例を対象に、外耳炎、皮膚炎、膀胱炎などで薬剤耐性菌に苦しむ犬猫たちの治療ならびにその開発費、研究開発にあたるスタッフたちの人件費やファージセラピーの社会的認知を広げるため、クラウドファンディングに挑戦することを決めました。

現在、第一目標である700万円を達成し、5件の臨床試験実施のための資金を確保することができました。今後はこの活動についてさらに多くの方々からのご賛同をいただくことを目標として、寄付者数500人・第二目標1000万円に向けて、寄付募集終了日までこの挑戦を続けます。

ご寄付の方法につきましてはインターネットにて、「酪農学園大学 レディーフォー」で検索または下記QRコードよりお願いいたします。

酪農学園大学 レディーフォー



問合せ：酪農学園大学 獣医学群獣医学類 獣医化学ユニット EMAIL：phage@rakuno.ac.jp

寄付募集ページ：https://readyfor.jp/projects/Rakuno\_Phage\_Therapy TEL：011-388-4885

